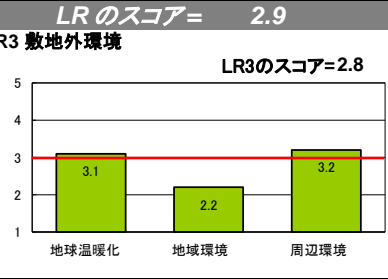
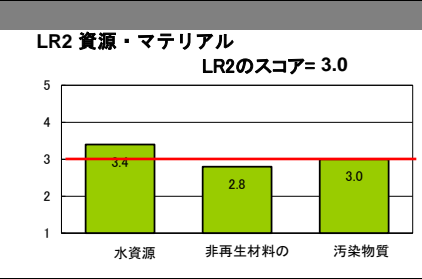
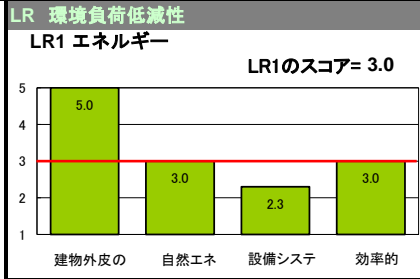
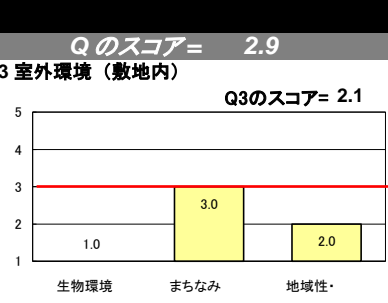
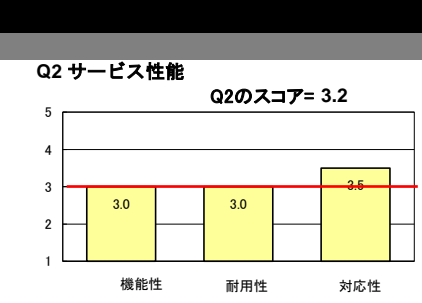
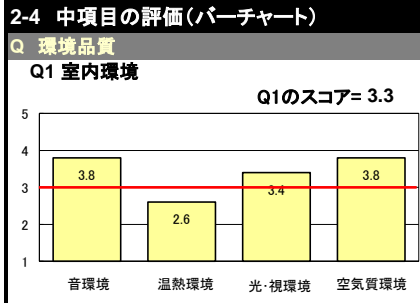
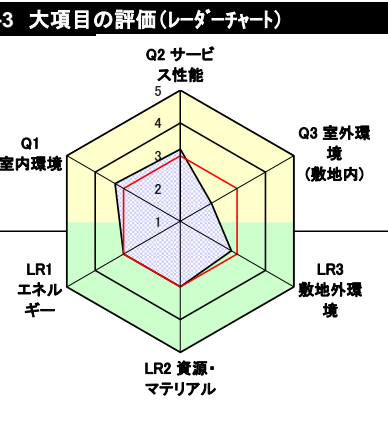
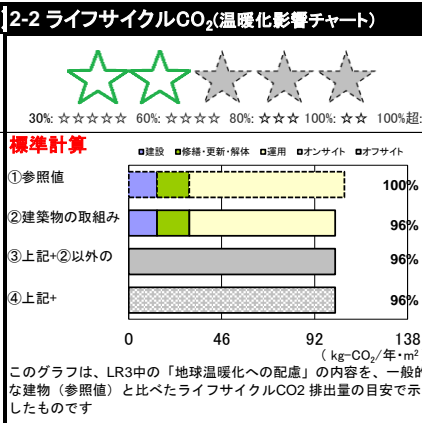
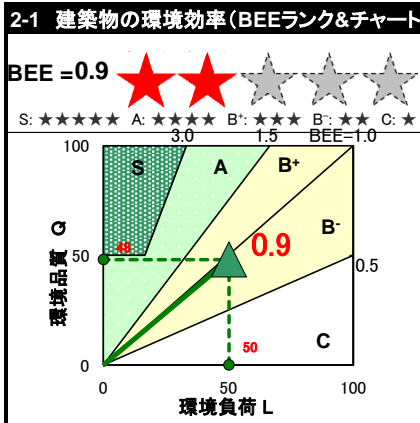


1-1 建物概要	
建物名称	日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ 1号棟
建設地	平塚市新町5-50
用途地域	工業地域、工業専用地域
地域区分	6地域
建物用途	事務所
竣工年	2020年12月 予定
敷地面積	962 m <sup>2</sup>
建築面積	630 m <sup>2</sup>
延床面積	2,492 m <sup>2</sup>

1-2 外観	
階数	地上5F
構造	S造
平均居住人員	35 人
年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年2月14日
作成者	一級建築士事務所(株)山下設計
確認日	2020年2月14日
確認者	一級建築士事務所(株)山下設計



### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> ・JR平塚駅から徒歩40分の工業地域及び工業専用地域で国道1号にも近接した地域に研究施設を計画した。	<b>その他</b> ・特に無し
<b>Q1 室内環境</b> ・取り入れ外気への配慮があり、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。 ・全館禁煙を実施している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内装材・設備機器の採用により、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・ゆとりのある階高にて、将来の用途変更可能性を考慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> ・特に無し	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・節水器具を積極的に採用し、水資源の保護に配慮している。 ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、躯体と仕上材の分離を容易にすることで、解体時におけるリサイクルを促進させる対策がある。

<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・特に無し	<b>LR3 敷地外環境</b> ・敷地内に屋外広告照明の設置は避け、周辺の光害抑制を図っている。
------------------------------	--

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される